

「動力ボートの効果的活用による救助技術の高度化に関する検討会」の開催

国民保護・防災部参事官

1 背景・目的

近年、局所的な豪雨、台風等により市街地が浸水し、住民が孤立する水難救助事象が多く発生しており、こうした災害では、安全かつ迅速な救助活動が求められます。

孤立地域からの救助活動では、ヘリによる救助が有効であるが、気象条件や一度に救助できる人員に制限があることから、多くの消防本部が保有している動力ボート（エンジン付きボート）による救助活動が重要となります。

このため、各消防本部の対応状況等について現状分析を行うとともに、これまでの実災害における経験や教訓を踏まえ、安全かつ迅速な救助活動を実施するための活動要領等について検討を行うことを目的とし、8月22日に第1回検討会を開催しました。

2 主な検討事項

- (1) 基本操作要領
- (2) 救助活動要領
- (3) 安全管理要領
- (4) 先進的・効果的な資機材の導入
- (5) 訓練方法・研修機関等の提示

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討会の趣旨やスケジュールについて事務局から説明が行われた後、実態調査の結果や過去の災害事例等を踏まえ、問題点の抽出や今後の進め方について検討が行われました。

4 検討会のスケジュール

- ・第1回 平成30年8月22日
- ・第2回 平成30年10月上旬（予定）
- ・第3回 平成30年12月上旬（予定）
- ・第4回 平成31年1月下旬（予定）

本検討会の検討結果は、平成30年度中に「平成30年度救助技術の高度化等検討会報告書」として取りまとめる予定です。

動力ボートの効果的活用による救助技術の高度化に関する検討会構成員

（敬称略・五十音順）

【座長】

小林 恭一 東京理科大学総合研究院教授

【委員】

○学識経験者・関係省庁等

安倍 淳	一般社団法人 日本小型水難救助艇協 会代表理事
石川 仁憲	国際ライフセービング連盟ILS Rescue Commission委員
石原 典雄	国土交通省海事局安全政策課長
榎本 雄太	海上保安庁交通部安全対策課長
菊地 太	一般財団法人日本ライフセービング協会 溺水防止救助救命本部副本部長
河野 順	日本小型船舶検査機構業務部長
田辺 晃	一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会試験部長
東城 英雄	海上保安庁警備救難部救難課長
山岡 宏	全米安全運航州法管理官協会安全運航指導員
吉村 高寛	公益財団法人マリンスポーツ財団事業部長

○消防関係機関

五十嵐潤一	東京消防庁警防部救助課長（※9月まで）
槇野 稔	東京消防庁警防部救助課長（※10月から）
稲継 丈大	全国消防長会事業部事業企画課長
岡本 拓司	北九州市消防局警防部警防課長
川勝 隆	藤沢市消防局参事兼警防課長
篠原 秀和	大津市消防局警防課長
東谷 浩二	西宮市消防局警防部警防課長
牧野 英二	名古屋市消防局消防部特別消防隊長



問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官
布川補佐、松浦係長、足立事務官
TEL: 03-5253-7507